

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー(編成方針)
共通科目(全学統一)	A-1	幅広い学問領域の基本的な概念や理論を修得し、教養としての知識・技能を身に付けることで、社会事象を多面的に理解することができる。
	B-1	学びや研究の基盤となる思考力・判断力・表現力等を獲得し、幅広い領域に活用することができる。
	C-1	修得した資質・能力を主体的に活用し、多様な人々と協働しながら実際の課題に取り組み、創造的に課題解決に向かうことができる。
	D-1	社会的課題やそれに対する学習・研究を通して、我々の生き方の指針を深く考え、自律的に真理を探究し続けることができる。
専攻科目	A-2	聖書の学びに精通し、特にバプテストの信仰理解に精通し、信仰の歴史的・神学的問題を多面的に理解することができる。
	A-3	人文学、特にキリスト教思想・哲学・芸術を中心とする分野の知識と技能を適切に獲得・活用することができる。
	B-2	神学的思考力を備えて批判的判断を重ね、キリスト教精神を究明し、それを発信することができる。
	B-3	神学分野に関連する人文学の領域の諸科学の思考・判断・表現等の方法を獲得・活用することができる。
	C-2	神が全世界を創造されたことに応答し、被造物と共に生きることを目指して、その祝福・平安・保全に対する責任を担うことができる。
	C-3	精神文化の形成、倫理、道徳の向上に向け、広く歴史・世界に働かれる神のわざに仕える創造的な奉仕をすることができる。
	D-2	イエス・キリストの解放の福音から押し出されて、日本、そして世界における平和の創造、人権の擁護、福祉の促進を追求し続けることができる。
	D-3	キリスト教界の指導者、教会の伝道者・牧師などの専門職業人として社会に貢献する態度を身に付けている。
	D-4	キリスト教精神を基盤としたリーダーシップと真摯な探求心で社会に貢献する態度を身に付けている。
		主に人文科学、社会科学および自然科学の各分野を中心とした、学問の基本的な概念や理論を修得するための科目を、選択必修として1年次から配置する。
		リテラシー領域を設け、学びと研究の基盤となる思考力・判断力・表現力を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。
		実習、演習、インターンシップ、ボランティアなどを中心とした、創造的に思考する力や他者と協働する力を修得するための基礎から発展への科目を、1年次から段階的に配置する。
		ライフデザイン領域を設け、生き方の指針および学び続ける態度を修得するための科目を、必修および選択必修として1年次および2年次を中心に配置する。
		キリスト教精神に基づく幅広い教養を身に付けるための専門基本科目及び神学を学ぶ上で不可欠なツールである古典語学や基礎的な現代語学に習熟するための古典語学・外語講読科目を配置する。
		聖書学・キリスト教歴史・キリスト教神学の部門を土台として、オリエンタル学・西洋古典学・キリスト教文学・音楽・美術等、更には総合的な人間学を学び、幅広くキリスト教を基礎とした人文学を学修するための科目を配置する。
		聖書の学びに精通するための聖書学科科目及び歴史における信仰・神学の諸問題に精通し、今日の諸問題と切り結ぶための歴史神学科目を配置する。
		諸学、特に人文学の諸領域の諸科学と対話しながら、人間と世界を正しく理解する力を身に付けるためのキリスト教人文学科目を配置する。
		主体的自覚的な課題抽出力を磨き、コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を鍛えるための特殊科目を配置する。
		キリスト教信仰の普遍性を踏まえ、国際感覚豊かな、社会奉仕の精神を持つ人となるための科目を配置する。
		日本そして世界の精神文化の形成、倫理・道徳の向上、平和と福祉の促進に貢献する人となるためにキリスト教精神を身に付けるための組織神学科目を配置する。
		教会の基本的な働きである伝道・礼拝・宣教・牧会などを学び、平和・人権の課題に取り組み、社会に貢献できるキリスト教界の専門職業人となるための技術を身に付けるための実践神学科目を配置する。
		幅広い教養を培うため、また、実践的な課題を射程に置いた倫理的な教育を行うための科目を配置する。

【ディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの各カテゴリー】
A:知識・技能
B:思考力・判断力・表現力等
C:総合的な学修経験・創造性
D:態度・志向性

カリキュラム・ポリシー(実施方針)
①神学分野の教育課程の編成をふまえ配置された各授業の内容に応じ、知識の理解を目的とする教育内容について、講義形式を中心とした授業形態を採るとともに、態度・志向性及び技能の習得を目的とする教育内容については、演習形式による授業形態を採ることとし、理論的な知識や技能を実務に応用する能力を身に付けることを目的とする教育内容については、実習形式や実践形式を交えた授業形態を採る。
②講義、演習ともに少人数による教育を行い、学生が自ら学修計画を立て、主体的な学びを実践できる、本人の実力を育てる教育を行う。

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 求める学生像

神学科は、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)及び教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた者を求める。

〔知識・技能〕

高等学校で履修する主要教科・科目の内容を幅広く理解し、高等学校卒業相当の知識を有する者

〔思考力・判断力・表現力等の能力〕

知識・技能を活用し、課題を解決するために必要な思考、判断、表現等が出来る者

〔目的意識・意欲〕

- ①歴史的、人文・社会的、国際的な文化への関心のある者
- ②神学コースは、キリスト教界における指導的な役割(伝道者・牧師、宣教師、教会主事など)を明確な目標に置く者
- ③キリスト教人文学コースは、幅広い教養を身に付け、社会奉仕の精神を持つことを目指す者

2. 選抜方法

神学科では、前項で述べた資質を有する者を、以下の方法によって選抜する。

(1) 一般選抜(一般入試、英語4技能利用型一般入試)

高等学校での学修の達成度をみるとともに、大学での学修に必要な基礎学力を有しているかを評価して判定する。

(2) 総合型選抜(総合型入試)

総合型入試では、小論文と面接を課し、出願時の学修計画書等を含めて、受験者の知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・協調性を総合的に判定する。

(3) 学校推薦型選抜(指定校推薦入試、併設高校からの推薦入試)

学校推薦型選抜では、高等学校において一定の基準の学力を修得したと認められる生徒の推薦を求める。また、神学部独自の指定先として、キリスト教学校教育同盟加盟高校及び日本バプテスト連盟加盟教会から、神学部での学びに強い意欲と理解をもった者の推薦を受け入れる。入試では受験者に小論文と面接を課しており、出願時の志望理由書を含めて、受験者の目的意識・意欲、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。

(4) その他の選抜(外国人入試、国際入試(帰国生、IB生))

多様な学びの背景を持つ学生を受け入れるために、外国人、帰国生及び国際バカロレア資格取得者のための入試を実施する。一定の語学力を有することを確認したうえで、日本語による小論文と面接を課すことにより、受験者の目的意識・意欲、理解力・思考力・表現力を総合的に評価して判定する。